

2026年5月13日

各位

会社名 株式会社レナサイエンス  
代表者名 代表取締役会長兼社長 宮田 敏男  
(コード: 4889 東証グロース)  
問合せ先 管理部  
(TEL. 022-727-5070)

### 業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期決算において、2026年3月11日に公表した2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2026年3月期 通期業績予想と実績値の差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 95	百万円 △425	百万円 △386	百万円 △387	円 銭 △30.09
実績値（B）	68	△356	△300	△301	△23.39
増減額（B-A）	△26	68	86	86	
増減率（%）	△28.2	—	—	—	
（参考）前期実績 （2025年3月期）	132	△178	△178	113	8.92

#### 2. 差異の理由

##### 【事業収益について】

前回発表の予想から26百万円（同28.2%）の減少となりました。

前回発表の予想で、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所からの助成金収入を事業収益に含めて通期業績予想を公表しておりましたが、監査法人との協議の結果、当該助成金収入については、事業収益ではなく営業外収益として表示することとなったことが理由です。

##### 【営業利益、経常利益、当期純利益について】

前回発表の予想から営業利益が68百万円、経常利益および当期純利益が86百万円改善いたしました。

営業利益については、上記助成金収入の表示区分変更により事業収益が減少したものの、慢性骨髄性白血病（CML）治療薬のパイプライン開発において、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）からの公的資金を活用したことや、膵臓がん治療薬や動物医薬品のパイプラインにおいて当初計画よりも研究開発費を抑制できたこと等により、自社の研究開発費が約29百万円削減いたしました。また、研究開発費以外の当初見込んでいた事業費用（外注費など）を約33百万円削減できたことから実績値が改善いたしました。

経常利益および当期純利益についても、営業利益の改善に加え、上記助成金収入を営業外収益として計上したことなどにより、前回発表の予想から実績値が改善いたしました。

以上